

## 神が降臨する時

2014年1月4日



「神が降臨する時」(英語)三部をご覧になる場合、  
こちらを[クリック](#)して下さい。(英語)

このメッセージの中で、アシェルはどのように神が  
降臨され、私たちの元にお住まいになり、私たちに  
力を与え、私たちを変え、聖霊によって私たちを一  
つにさせるかを語りました。彼はまた使徒 2 章にお  
いてエルサレムにいた様々な人々に聖霊が下った事について語りました。

見逃した場合、こちらを[クリック](#)して[パート 1](#)、[パート 2](#)、[パート 3](#)を見て下さい。(英語)

## 終わりの時の預言への序論

ギル・アフリアット (Gil Afriat)

メシアが降臨される時、地上に平和が訪れ、千年王国の間自然界の創造物に刷新が起こります。しかし、ほとんどの終わりの時の預言は実際、主の再臨の直前の期間について述べています。聖書の 10%だけが終わりの時の預言について述べており、私たちは預言に対し、バランスのある取り組みと、適切な強調点をもって学ばなければなりません(II テモテ 3:16)。

イエシュアがいつ再臨されるのかは、私たちは分かりませんが(マタイ 24:36)、私たちはその時期を理解することができます(マタイ 24:33)。主はあたかも「夜の盗人」のように不義な者たちの元にやってきます(I テサロニケ 5:2)。しかし、主は私たちがこの問題について闇の中にいることを望んでおられません(I テサロニケ 5:4)。

聖書で何度も述べている通り、主はすぐに再臨されます(黙示録 1:3、3:11、22:20)。しかし、同時にそれは私たちにとって長い期間のように見えるのです(マタイ 24:48、25:5; ルカ 19:11; 2 ペテロ 3:4)。なぜなのでしょう。神は、すべての世代の信者が自分の時代にイエシュアが再臨されると仮定し、霊的にも倫理的にも準備をすることを望まれています。そうすることによって、私たちは主との親密さと神の知識を深めるのです。さらに、主のご意志として、私たちが、主が再臨されることを熱意を持つ事を(黙示録 22:17; 2 テモテ 4:8)、主による裁きがすぐに行われる事を、そしてエルサレムにおける玉座で栄光の主を見たいと思う私たちの心を。理解する事、望まれているのです。

終わりの時の預言には、最終的なものと部分的な成就があります。最終的な成就是歴史の終わり

にやってきますが、部分的な成就是歴史を通して多くの世代の中で生じます。この両面的な性質、部分的なもの、最終的なもの、現在と未来、を理解することは、終わりの時の教えに対処する時に私たちにさらなる見識を与えてくれます。

### 血まみれの手

(2013年12月24日付のイエディオット・アハロノット誌のp14、テレム・ヤハヴ (Telem Yahav) 氏の記事のより引用。)

(編集者からのコメント: この記事はイスラエルにとって微妙な時期に掲載されました。すなわち、イスラエルが有罪判決を受けたテロリストらの第三グループを釈放する時期だからです。それはジョン・ケリー(訳注: 米国国務長官)によって主導されている和平交渉に対する譲歩の結果です。多くのイスラエル人ら、とりわけ、テロ犠牲者の家族と友人は、最近この譲歩に対して反対するデモを行いました。私たちはここに、イスラエル社会における、上記のような政治的決断に伴う感情的な動揺を正しく理解して頂くために、掲載したいと思います。)

2000年10月12日、二人のイスラエル人予備役兵であったヨシ・アブラハミ(Yosi Abrahami)とヴァディム・ノーリッツ(Vadim Norzits)は、赤いフォード・フィエスタを運転して、間違っパレスチナ暫定自治区へ入ってしまい、ラマラに着きました。パレスチナ人の警察官であるラアド・ア・シェイク(Raad A-sheikh)は、彼らをラマラ警察署の二階へ連れて行きました。外には群衆が集まっていた。

その次に何が起こったのかという裁判所は、の記録は、13年の司法上の遅延を経て、今週開示されました。ア・シェイクは述べました。「私は25センチの鉄パイプを取り、ロシア人の兵士(ノーリッツの事)の頭を殴りました。彼が倒れて喉からごろごとという音が鳴り始めるまで殴り続けました。」もう一人のパレスチナ人警察官である、タレック・タバシュ(Tarek Tabash)は捜査官に言いました。「私は一人の兵士が顔を床に伏せて倒れているのを見ました。彼はヘブライ語で叫び、話していましたが、私には分かりませんでした。私は木製の警棒で彼の背中を3回殴りました。」



外にいた群衆の中で、アベッド・アル・アズィズ・ツアルハー(Abed al Aziz Tsalhah)若いパレスチナ人は、上ってその部屋に入ってきました。ツアルハーは言いました。「私たち全員は血が見たくて狂乱状態でした。私はイスラエル人兵士が、彼の背中の上部にナイフが刺さった状態で、顔を床に伏せて倒れているのを見ました。私はナイフを抜いて、さらに2、3度刺しました。そして、ナイフを彼の背中に刺したまま残まし

た。部屋にいたその他の人々は彼を蹴り始めました。彼を刺した後、私は彼の口に手を当て、もう片方の手を彼の肩にかけて、彼が息できないようにしようと思いました。私の両手が血まみれになったのを見て、私は窓に行って中庭にいた男達に向かって手を振りました。」

ツアルハーの血まみれの手は、「ラマラのリンチ」のシンボルとなりました。それは今に至るまですべてのイスラエル人の集団記憶の中に刻み込まれました。二人の予備役兵の切り裂かれた体は窓から路上へ放り投げ出されました。ツアルハーは殺人の罪で 10 年間刑務所にいましたが、3 年前にギラッド・シャリートを自由の身にするための交換として、彼は解放されました。パレスチナ裁判所で取り扱われる事件は決して結論が出る事はありませんでした。

## 再上演: 星が生まれた

ベディ・イントレーター

10 月に、私たちは皆さんに、MJAI (イスラエルのメシアニックジュー同盟) の新しいミュージカル劇の作品である「星が生まれた」についてお祈りして下さいとお願いしました。それは 12 月に上演され、大変な成功を収めました。信者と未信者織り交ぜておよそ 1500 人の人がキブツ・ブレナーで上演された特別講演に参加しました。脚本、歌、そして振り付けは地元のメシアニックジューによってすべて制作されました。ミュージカルはプロの 5 人のカメラクルーによって撮影されました。80 人を越える人々がステージ内外で制作に携わりました。大人と子どもの俳優の組み合わせが、上映の夕べに暖かみを与え、それは真の家族的な交流の場となりました。皆様のお祈りを感謝します！  
(詳細は MJAI のホームページである[こちら](#)を見て下さい。)

